

南薩地域振興局では、地域の概ね10年後の「将来の姿」やそうなるため 今回は、このビジョンに基づき農林水産業の分野で活躍されている住

南薩農業のPRや農業体験メニューの開発に頑張っています!!

【畑の郷 水土利館 大園道寛さん, 田原美幸さん 南九州市】

今から約40年前、南薩地域一帯は、シラスやコラなどの保水力に乏しい火山性土壌に覆われ、収益性が低い作物しか育たず、農家の生活は過酷で厳しいものでした。このため、昭和45年に、池田湖を調整池として南薩地域一帯の畑地に水を送る大規模な畑地かんがい事業がスタートし、平成6年に完成しました。その結果、茶やニンジン、ソラマメ、オクラなど収益性の高い作物や花き、ピーマンなどのハウス栽培も始まり、南薩地域の農業は大きく変わりました。

「畑の郷 水土利館」は、こうした南薩地域の畑地かんがい農業の歴史・文化・営農について体験・学習する施設です。

私たちは、この水土利館を通じて、南薩農業の担い手となる多くの子供達に南薩の農業や文化についてたくさんのかんがえてもらえるよう運営・管理に携わるとともに、お客さまの要望に沿った食や農業の楽しい体験メニューの開発、お茶の魅力や楽しみ方を伝えることを通じて、南薩畑かんの歴史や営農のPRに努めています。その結果、南薩畑かんの幅広い世代への普及活動が行われるとともに南薩地域の小中学校の農業体験メニューの一つとして組み込まれるなどの成果が現れています。

畑の郷水土利館

- 所在地
南九州市顛娃町牧之内
15025番8
- TEL (0993) 36-3911
- FAX (0993) 36-3912
- 開館時間
午前9時～午後5時
- 休館日
毎週火曜日
※祝日の場合は翌日
12月29日～1月2日



子供達に南薩農業の魅力 伝える大園さん

南薩農業を考える講演会やイベントの企画、子どもを対象にした楽しい体験メニューの開発を行っています。



おいしいお茶の淹れ方を 教える田原さん

日本茶アドバイザーの資格を取得し、地元の子供達や修学旅行生、外国からの旅行者に茶の手もみ体験やおいしいお茶の淹れ方などを教えています。

”ママ嫁会”は、誇りを持って山川で花の生産をおこなっています!!

【ママ嫁会会長 湯元加代さん 指宿市】

私たち”ママ嫁(よめ)会”は、指宿市山川地区の花を生産する若手女性の会で、現在7名で活動しており、心を癒やす花の生産に携わっていることや県内初のスプレーグク生産地であることを誇りに活動しています。

また、農業の基礎技術の習得や会員相互の親睦により自らの能力を高め、農業経営に積極的に関わっていくことを目的としています。

私たちはこれから

- 1 花の産地”山川”を広く消費者にPRします。
- 2 私たちが気持ちを込めて作った花を自信を持って販売します。
- 3 今まで扱ったことのない農業機械の安全な使用方法を習得します。
- 4 いち早くキクの病害虫を見分けることができるよう研修を実施します。

以上の目標を掲げて活動していきますので、”ママ嫁会”のポロシャツを街で見かけたら、励ましの声をかけてください。



自分たちの花で制作したフラワーアレンジと花束を持って県を表敬訪問 ”山川で花き生産に携わっていることを誇りに思っています!!”



山川が花きの産地であることをPRしながら販売しています。
”山川ってすごく良いところなんですよ～”



草払い機安全使用講習会を実施しました。
”私たちなんでもやりますよ!!”



病害虫対策勉強会で観察力を身につけようと研鑽を重ねています。”私たちが先に気づきましょう!!”

の「取組」を示す南薩地域将来ビジョンを平成22年3月に作りました。 住民・団体の皆さんの取組について紹介します。

武器は若さとチームワーク!地域とお茶の消費拡大のために日々奮闘中!! [KEファーマーズ会長 折尾研吾さん 南九州市]

私たち「KEファーマーズ」は、南九州市頰娃地区で活動する農業青年グループ(20名、平均年齢29歳)で、農作業の合間を縫って、ボランティア活動や能力向上のための勉強会を行っています。

平成23年、「若い世代にもお茶の味と香りの楽しさを知ってもらいたい」という想いと淹れ方教室で出された意見をもとに、「渋男(しぶお)」、「爽々(そうそう)」、「恋するお茶」という3種類の緑茶商品を若い世代にターゲットを絞って開発しました。

色	緑	名 称	煎 茶
製法	蒸 製	原材料名	緑 茶
産地	鹿児島県南九州市	原料産地名	鹿児島県南九州市
賞味期限	種丸下部に記載	内容量	50g
保存方法	高温多湿を避け、 移り香にご注意ください。	保存方法	高温多湿を避け、 移り香にご注意ください。
製造者	KEファーマーズ		

「渋男(しぶお)」
一目散むと上質をコアと飲み香りの
ハーモニーが口の中いっぱいに広がる
一杯です。舌の自覚めや、仕事始め、
ふるまひを待たした時にオススメの
お茶です。

産地は鹿児島県南九州市、原料は南九州市産茶です。
賞味期限

えい町には色々なお茶の品種が
あります。僕たちお茶農家はそれら
の味と香りを愛しています。
若い世代の方にもこの楽しさを
知ってほしいという思いからシリン
ごとに淹れるお茶を作りました。
産地ゆっぴり一杯をお楽しみく
ださい。

produced by
KE Farmers

パッケージ裏面にお茶の特徴や
生産者の想いを示しました。

これらの商品は、デザイン会社と協力して手
に取りたくなるようなパッケージデザインや、
味や香り等の特徴をネーミングと6段階の目盛
りで表現し、飲んでほしい場面の提案や生産者
の想い等を記載するなどの工夫をしました。

その結果、鹿児島市内で行ったテスト販売で
は、「お茶を購入する際の参考になる」等の意見
が購入者から聞かれ、お茶の特徴や私たちの想
いをわかりやすく伝えることができました。

今後も、癒しやすらぎの時間を提供できる
よう、安心・安全でおいしいお茶づくりと消費
拡大活動を展開していきたいと考えています。



左から「渋男(しぶお)」、
「爽々(そうそう)」、「恋するお茶」



テスト販売の様子

まだまだ元気！高齢者が中心となって「金峰ごま」の産地化と6次産業化に取り組んでいます!! [金峰ごま生産組合組合長 原菌秀雄さん 南さつま市]



講習会の様子

私たち金峰ごま生産組合は、農家の高齢
化や担い手不足などから発生する地域内
の遊休農地解消のため、軽くて高齢者でも
容易に作ることができる「ごま」を南さつ
ま市の新たな特産物とするため、平成20
年4月に18名の農家、3haの作付面積で
スタートしました。

スタート当初は、ごまを作った経験がな
いメンバーばかりで、試行錯誤の連続でし
たが、やがて栽培技術が確立し、収量や品
質が安定してくると、その取り組みに興味
を持った農家が増え、平成23年には、104
名の農家、35haの作付面積にまで拡大し
ました。

すでに、エコファーマー認証※1を取得して農薬や化学肥料を使用しない、環境に
優しい安心・安全なごまの栽培に努めています。

また、私たちは、さらなる収益性の向上を図るため6次産業化※2にも積極的に取り
組んでおり、組合長自らが経営する地域の野菜等を販売する直売所には、組合員が生
産したごまや加工したごま製品(ごま油やアイスクリーム等)が数多く並べられてい
ます。

- ※1 環境にやさしい農業を行う人を応援する制度で県知事が認定
- ※2 農業者(1次産業)が食品加工(2次産業)、流通、販売(3次産業)にも主体的かつ総合的に関わり、付加価値を農業者自身が得ることによって農業の活性化を図る取り組み



直売所外観



ごま製品